

## 臨床研究に関する情報

北海道大学病院と株式会社 CURED では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 4 年 3 月 10 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 固形腫瘍における EVA1 発現に関する検討

[研究代表機関名・研究代表者名・所属 / 研究機関の長の氏名]

北海道大学病院・畑中 豊・先端診断技術開発センター / 渥美 達也

[共同研究機関名・研究責任者名・研究機関の長の氏名]

株式会社 CURED・岩佐 拓磨・道下 眞弘

[研究の目的] 近年、癌幹細胞は癌根治の重要な標的であることがわかってきておりますが、本研究では癌幹細胞内に存在する EVA1 タンパクという膜タンパク質に着目しました。本研究は、抗 EVA1 抗体という物質を用いて、脳腫瘍、膵癌、膀胱癌、胃癌、肝癌、肝内胆管癌、肺癌の腫瘍組織の EVA1 タンパク発現状態を確認することで、今後の検査法や治療法の開発に貢献する情報を得ることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

脳腫瘍、膵癌、膀胱癌、胃癌、肝癌、肝内胆管癌、肺癌の患者さんで、2000 年 1 月から 2022 年 3 月の間（脳腫瘍の患者さんについては 2019 年～2022 年 3 月の間）に、上記疾患の腫瘍摘出手術を受け、切除された腫瘍検体が保管されている方。

○利用する検体・情報

検体：手術によって切除され、その後標本作製のための処理をした組織（ホルマリン固定し、その後パラフィン（いわゆるロウ）に埋めた組織）の一部。

情報：年齢、性別、病歴、術後転帰、疾患名、手術名、治療内容、再発の有無、病理組織学的所見など

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。上記の検体を用いて作成した EVA1 染色標本の画像データは、個人を特定できる情報を削除した後、本研究関係者のみがアクセス可能な共有サーバに保存することにより株式会社 CURED に電子的に送付され、EVA1 発現の解析が行われます。なお、それ以外の情報は北海道大学病院より持ち出されることはありません。

[研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日（登録締切日：2023年9月30日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 先端診断技術開発センター

研究担当者：畑中 豊

住所：北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

電話：011-706-5716

[株式会社 CURED（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

株式会社 CURED

担当者：研究開発部長 岩佐 拓磨

住所：神奈川県横浜市中区山下町 74-1

電話：045-212-5071